

WS
1

丸山眞男『現代政治の思想と行動』（未来社）を読む

オンライン併用

【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに15,440円 聴講生16,730円

『政治・経済・社会』【ワークショップ】政治・社会

【時間】毎回15時00分～17時00分（計10回）

概要

丸山眞男が戦後10年間に書いた日本ファシズム論や政治学の方法論や政治の本質論を集めて自ら編んだこの論文集は戦後日本の原点である。我々は未来を切り開くためにいつも原点に立ち返らなければならない。すでによく知っている方にもまだ知らない方にも御参加いただいて、お互いに刺激し合いながら、今このときにこの本から知的な養分を吸い取れるだけ吸い取りたい。

回

月/日(曜)

会場

学習内容

講師名(敬称略)

1

4/10(水)

この本の背景と読み方について（以下のカッコ内は収録論文の番号）

2

4/24(水)

「超国家主義の論理と心理」と「科学としての政治学」（一の1、三の1）

3

5/8(水)

日本ファシズム論（Ⅰ）（一の3、一の5）

4

5/15(水)

日本ファシズム論（Ⅱ）（一の2）

5

5/22(水)

川崎市
生涯学習
プラザ

「ある自由主義者への手紙」その他（一の4、一の6、一の7）

6

5/29(水)

政治的なものとは何か（三の2、三の3）

7

6/12(水)

丸山眞男とマルクス主義（二の1、二の2、二の5）

8

6/26(水)

ファシズムと全体主義（二の3、二の4、三の4、三の5、三の6）

9

7/3(水)

60年安保期の発言（三の7、三の8）

10

7/10(水)

まとめ－思想史と政治学－

信州大学名誉教授
都築 勉連絡
事項

テキスト：丸山眞男『〔新装版〕現代政治の思想と行動』（未来社、本体3,800円＋税）。収録論文の一部は岩波文庫等でも読めるが、この論文集で前後の配列を考えて読むことに意義がある。ロングセラーだからネットで検索すると古書も多く流通している。かつての増補版でも新装版でもかまわない（頁数は同じである）。